

## 【山陰インバウンドニュース 2023 年 10 月号】

令和5年10月30日  
(一社) 山陰インバウンド機構

### 『2023 国宝松江城・松江水燈路国際交流イベント』が実施されました

9月28(木)、29日(金)の2日間、松江城周辺エリア・大手前駐車場で『2023 国宝松江城・松江水燈路国際交流イベント』が実施されました。

通常は土日祝日に開催されている松江水燈路をこの平日2日間に特別開催するもので、当日は松江の和菓子・お抹茶の体験、日本酒発祥の地・鳥根県の日本酒、カニ汁・出雲そばなど山陰の食の振る舞いに加え、石見神楽・藝行列を鑑賞・体験することもでき、外国人約300名や松江市民、このイベントの専用ツアー参加者(約600名)を含む、2日間でおおよそ3,200名の来場者で賑わいました。

来場したフランス人旅行客からは「美しく楽しい夜のイベント。抹茶・和菓子は松江らしい素敵な体験」という好評の声もいただきました。



### シンガポールで山陰地域の観光 PR を行いました。

山陰インバウンド機構では、重点的に誘客促進に取り組んでいる東南・東アジアの国々を対象に、JNTO(日本政府観光局)等と連携しながら海外で行われる個人旅行客向けの旅行博へ出展し、山陰地域の観光 PR に加え「Discover Another Japan」Pass のダウンロード・販売促進に取り組んでいます。

今回は、9月27日(水)からシンガポールで行われた「Japan Travel Fair2023」に参加した様子についてご紹介します。

#### シンガポール ブースでの様子



鳥取県の「蟹取県帽子」は来場者の注目を集めました！

## シンガポール ステージイベントの様子



島根県観光キャラクター「しまねっこ」は、イベントでの人気投票で堂々第3位に選ばれました。

### 【シンガポールでPRを行った職員の所感・気づきなど】

- ・東京や大阪などへの訪日経験者が多く、地方をはじめとした新たな旅行地を求めている層が多かった。訪日予定をすでに決めている人がより詳細な観光情報を求めてブースを訪れていた。
- ・DAJP アプリ DL 時のアンケート結果より、およそ8割が訪日経験者であり、またそのうち2割以上の方に10回以上の訪日経験があった。旅行形態は家族・親戚旅行がおよそ4割を占め最多。
- ・鳥取砂丘、青山剛昌ふるさと館(コナン)、松江城へ興味を持つ方が多くみられた。
- ・最寄りの国際空港からの行き方、山陰内での移動手段に関する質問が多く、あまり運転経験がないためにレンタカーでの移動を躊躇する人が多かった。
- ・日本の地方部で、英語でのコミュニケーションがどれくらいできるのかを心配する人が多かった。
- ・カニは非常に人気で、「現地で食べてみたい」と話す人が多かった。

来月配信の11月号では、今年度最後の旅行博参加となった台湾での様子をお知らせします。各職員が肌で感じ取った各市場でのニーズや気づきを活かしながら、引き続き山陰の観光PRや各事業に取り組んでまいります。

## 大田市の外国人モニターツアーに参加しました

10月16日(月)から18日(水)にかけて、「大久保間歩プレミアムツアー」と題して大田市が観光庁の補助を受けて実施した観光再始動事業モニターツアーに、当機構の外国籍職員が参加しました。

### 行程の概要

10/16	出雲空港 → 出雲大社参拝 → 温泉津・焼き物体験 → 温泉津温泉
10/17	温泉津温泉 → 石見銀山・大森の街並み散策 → 「大久保間歩」見学 → 夜神楽鑑賞 → 温泉津温泉
10/18	温泉津温泉 → 石見神楽面絵付け体験/福光石彫刻体験 → 出雲空港

- ・限定公開されている石見銀山最大級「大久保間歩」の見学
  - ・地酒を味わいながらの特別感あるプライベート神楽鑑賞
  - ・「石見神楽面絵付け体験」、「福光石彫刻体験」の2つの体験コンテンツにより、石見の文化を満喫
- 世界遺産「石見銀山」に来訪するインバウンド客の滞在時間の延長や観光消費額の増加を目指し、企画中の高付加価値旅行の磨き上げを図りました。

モニター参加者の国籍はアメリカ、中国、韓国で本ツアーへの意見も様々。「もっと買い物したい」、



「料理は懐石料理ばかりでなくてもよい」、「もっと自由時間がほしい」等、今回得られた各参加者の意見を参考に、インバウンド客に島根県石見地方の暮らしや文化をたっぷり感じていただけるツアーの造成・磨き上げへと繋げていただけることを期待しています。



## 10/23 島根大学にて大学生向けに講演を行いました

10月23日(月)、島根大学・鹿住先生の「観光地域経営論」の授業の中で機会をいただき、当機構代表理事の野浪より「訪日インバウンドによる地域の観光振興」と題して講演をさせていただきました。

統計等のデータ紹介に加え、観光振興に取り組む意義や地域の中でのDMOの役割といった概念的な話から、当機構の具体的な取組み等多岐にわたって話をさせていただき、学生の皆さんにはイメージしにくい内容も中にはあったかと思えます。

しかし講演後の質疑応答では、学部を超えて受講している学生の皆さんより様々な角度から質問をいただき、参加した機構職員一同も日頃の取組みを振り返る貴重な機会となりました。

引き続き、地域の関係者の皆様と協同し、地域課題の解決や人材育成のお役に立てるよう努めて参ります。

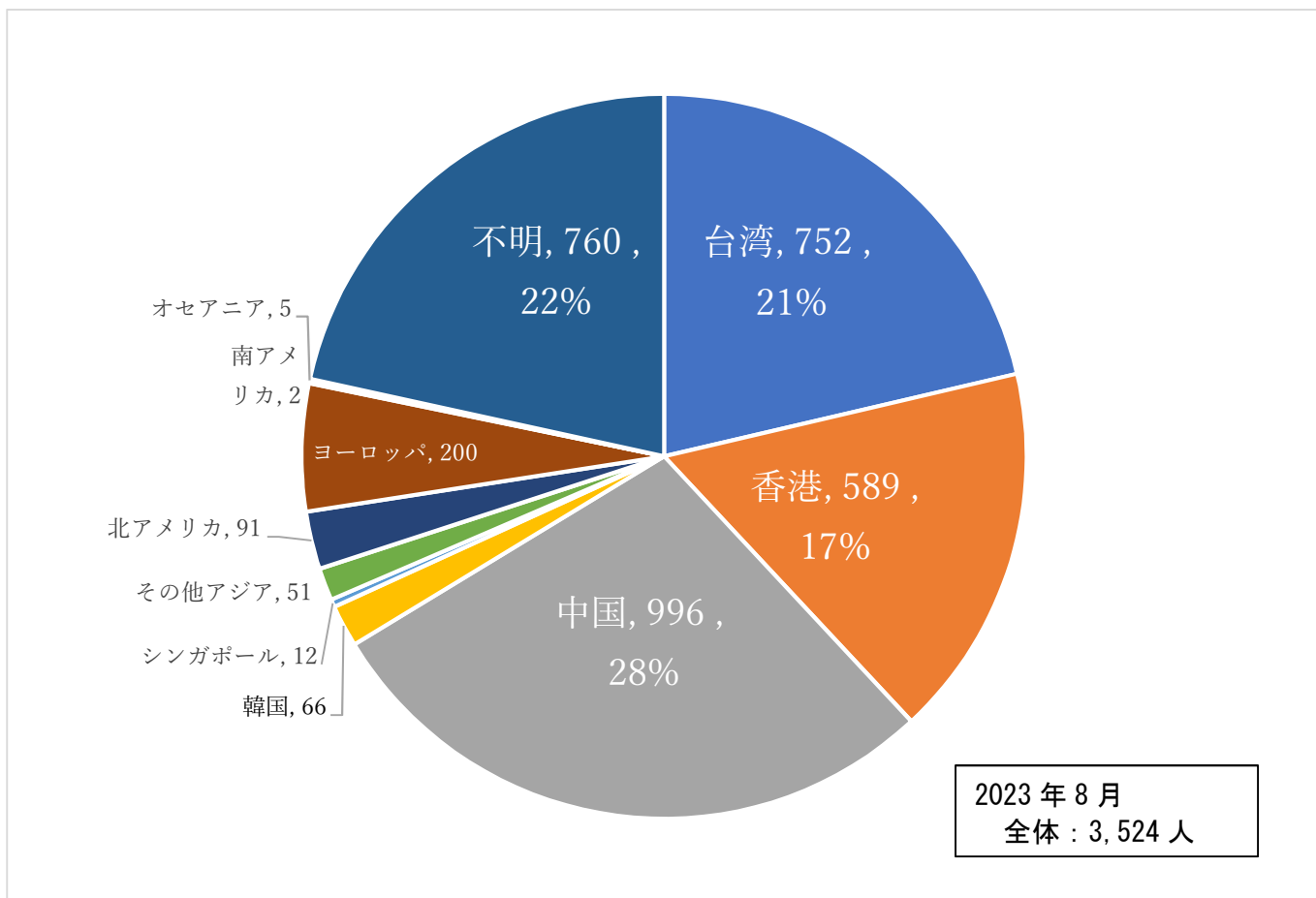


## 参考：山陰・観光案内所等への外国人訪問者数

当機構では山陰両県の観光案内所・観光協会様等のご協力をいただき、毎月各案内所等へ訪問した外国人観光客数やその国籍について集計を行っています。

山陰両県全体の外国人観光客の様子としてお知らせしますので、参考にご覧ください。

※各案内所等により細かな計測手法等には違いがあるため、あくまでも参考にご覧ください。  
 ※今後継続してのお知らせは行わない場合もありますので、ご了承ください。



## 観光関連統計等

山陰への訪日外国人延べ宿泊者数※観光庁宿泊旅行統計調査（従業員10人未満の施設を含む）

期間	山陰への訪日外国人宿泊者数（鳥取/島根）	比較
2023年7月	11,690人泊 (鳥取7,570人/島根4,120人)	(2022年7月) 2,670人泊 (2021年7月) 2,180人泊※
【参考】日本全体の現状(2023年7月) (速報値)	10,814,130人泊 ※観光庁宿泊旅行統計調査 <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html</a>	(2022年7月) 369,650人泊 (2021年7月) 784,720人泊※

※確定値